

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	7thSense高槻上牧駅前		
○保護者評価実施期間	2026年3月2日		2026年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年3月2日		2026年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	意思表示の力、気持ちを伝える力を伸ばすための支援	言語・非言語のコミュニケーションを多くとることで利用児童の意思表示の力を伸ばす支援を行っております。他者とのコミュニケーションの楽しさを感じられることを第一に考え、利用児童の発達段階に応じて相手に伝わりやすい伝え方のスキル習得のサポートも行っております。	自らの意思を言葉で表現することが難しい利用児童に対しては、気持ちを代弁したり、選択肢の中から自分の気持ちに近いものを選んでもらったり、カード等で気持ちを表現できるよう支援を強化してまいります。
2	職員の専門性	様々なバックグラウンドを持った職員が今までの経験を活かすことはもちろん、そのスキルを全職員に共有する機会を持っています。また、法人研修や行政主催の研修にも積極的に参加してスキルアップを測っています。	職員が研修で学んだ内容を療育はもちろん、日常生活にも活かせるような視点を持って療育を行えるよう努めてまいります。
3	療育内容のバリエーション	自社教材をはじめとした、数多くの教材・教具を活用して療育を行っております。教材・教具の使い方は利用児童の発達段階はもちろん、その日のコンディションによっても変化させています。	利用児童の「もっとやってみたい」という気持ちを引き出せるような関わりを継続して行ってまいります。また一方でうまく行かないときにも「そういうことがあって大丈夫。また次にチャレンジしよう」という折れない心を育めるような関わりも継続して行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催について	保護者会については現状実施をしておらず、現時点での実施の予定はございません。	今後実施の希望がございましたら、実施を検討いたします。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会について	保育所や認定こども園、幼稚園等との児童同士の交流は主な支援が個別療育ということもあり、現状難しいと考えています。	ご希望があり、環境が整う状況であれば利用児童が通われている保育所や認定こども園、幼稚園等との連携は可能です。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 7thSense高槻上牧駅前

公表日 2026年3月31日

利用児童数

23人

回収数

16人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	1	5		保育所や認定こども園、幼稚園等の子ども達との交流の機会は持つ機会は現状ございません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	1	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	4	5		ペアトレ及びきょうだい同士の交流の機会の設定は今後検討していきたいと考えております。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	4		HPでの情報発信は今後機会を増やしていきたいと考えております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	0	0	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1	0	0		セブンスセンスが利用されているお子様はもちろん、ご家族の皆様にとっても安心して楽しめる場になるよう、尽力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1	0	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		7thSense高槻上牧駅前				公表日	2026年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		適切なスペースの確保はできています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準を満たした職員配置を行い、児童の状況に応じて見守りや個別対応ができる体制を整えています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		廊下には手すりを設置しております、多機能トイレもあるので車いすでの利用も可能です。またトイレにはお着替えボードを設置しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日教室の清掃・整頓を行っています。各教室に畳を設置しているため寝転んでリラックスすることも可能です。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーティションで区切られたスペースを設けており、必要に応じてクールダウン等に用いることができるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		定期的なミーティングや振り返りを通して、支援や業務の改善について職員間で共有・検討しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年保護者向け評価アンケートを実施し、支援内容や事業所運営の改善に活かしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		定期的なミーティングや日々の情報共有を通して業務改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		第三者評価は実施しておりません。今後実施を検討したいと考えております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		年1回の法人全体の研修や日々の研修動画視聴を通じて資質向上を図っています。また、市主催の研修にも積極的に参加をしています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		児童の発達状況や保護者のニーズを踏まえた上で計画を作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		会議等で意見交換をして情報共有を行っております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画内容は職員間で共有し、支援目標に沿った支援を行うよう努めています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			アセスメントツールは使用しておりますが、内容は定期的に改善していく必要があると感じています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		達成可能な目標設定を意識して支援内容を設定しております。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員間で意見交換を行いながら活動内容を検討しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		過去の活動内容を随時見返しながら、活動内容が偏らないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	現状は個別療育がメインですが、今後集団療育を実施する際にはそれらの組み合わせについても検討したいと考えています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必要に応じて相談や情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必要に応じて相談や情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録を作成し、支援の振り返りや改善に活かしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		会議等で意見交換をして情報共有を行い、計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席することが多いです。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて幼稚園・保育園等と情報共有を行い、児童の支援の方向性を検討しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		インクルージョン推進の観点からの連携は行えておりません。今後必要に応じて実施したいと考えております。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		毎年度末ご希望の方には就学予定小学校への情報共有を行っています。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		今後必要に応じてそのような機会を設けることも検討したいと考えております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後必要に応じてそのような機会を設けることも検討したいと考えております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やレッスン報告書等で情報共有を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアトレは実施できておりませんが、研修会等の情報提供は適宜行っています。	ペアトレの実施も検討したいと考えております。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明をしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談で意向確認を行っています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		面談で同意を得ております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご希望の方に対して適宜実施をしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現時点ではそのような機会はほぼございませんが、今後利用者・家族からの希望があれば検討したいと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		ご希望の方に対して適宜対応をしております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		レッスン報告書の発信等は行っておりますが、通信の発行はできておりません。定期的な情報提供に努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠できるロッカーで保管する等適切に対応しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		状況に応じて視覚的支援等を実施しております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現状地域住民への施設開放は行っておりません。こちらについては現状実施の予定もございません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事務所内スペースに観覧できるよう設置しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		法廷研修は適切に実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に必要に応じて情報提供いただいております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	飲食物の提供は行っておりません。	飲食物の提供は行っておりません。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		適切に研修・訓練等を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		事務所内スペースに観覧できるよう設置しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		定期的に内容の確認を会議で実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		適切に研修・訓練等を実施しております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		適切に対応しております。		